こどもがしるべき

ガラテヤへの

ガラテヤへのは、パウロが１のときにたてたガラテヤにったです。

パウロは、ピシデヤのアンテオケにあるで「キリストはダビデにされた『メシヤ』であり、そのをじるによってわれる」というをえました。（使徒13:13-14）

パウロは、ガラテヤでった２のときも、をえました。それとともに、のがめられ、キリストをじるのがえるとのえをけました。

しかし、だけをにうりをえるたちが、いにしてったをえました。とによってこそわれるとしたのです。また、パウロはではないといました。このことで、をわしました。（ガラテヤ5:4、6:12）しかし、いはであるイエス・キリストをじるときにけるのです。

パウロは、ガラテヤへのに

「１．パウロのは、がくださった。

　２．ただイエス・キリストをじるときにわれる。まちがっているりののえにだまされてはならない。

　３．まことのは、からにならなければならない。

　４．のことと、の（９つ）は、ちがう」

というをめてりました。

３は、「ガラテヤへの」をじて、ただイエス・キリストのよってのみけることのできるいとまことの、のをぶレムナントになりましょう。